

○ おのまち

議会だより

164号

令和2年
11月12日発行



定例会9月会議

4 常任委員会審査
ページ

7 町政を問う!8人が一般質問
ページ

6 7月第1回会議・10月第1回会議
ページ

18 議会活動トピックス
ページ

本番に向けて練習を開始!～ふくしま駅伝小野町チーム～

定例会9月会議

9月3日～11日



▲座席の間隔を空けて本会議を開催

令和2年小野町議会定例会9月会議は、9月3日から11日まで9日間の日程で開かれました。

会議では、令和元年度各会計の決算、令和2年度各会計補正予算など20件の町長提出議案と報告1件、議員提出議案4件が提出され、議案はすべて原案のとおり可決しました。

また、8名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをただしました。

◆小野小学校トイレ改修など新しい生活様式への対応経費を補正

各会計の補正予算額は、右の表のとおりです。

一般会計の収入と支出において、収入では地方交付税や国や県の支出金などが増額となりました。支出では、新生児特別定額給付金、新しい生活様式対応支援事業補助金、ため池ハザードマップ作成・耐震調査委託料、多目的研修集会施設大ホール空調設備工事費、小野小学校トイレ改修工事費などで増額となりました。

また、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、浄化槽整備推進事業、文化・体育振興基金特別会計では、現時点での所要の補正を行ったものです。

反対討論（一般会計補正予算）

渡邊直忠議員

新型コロナウイルス感染症対策が不十分であり、多目的研修集会施設大ホール空調設備費と財政調整基金積立金を合わせた金額を、小野町応援商品券支給事業等で町民へ直接給付すべきと考えるため、反対する。

◆令和元年度の決算を認定 全7会計 約84億円の支出を審査

※1万円未満切り捨て

会計区分	歳入総額	歳出総額	決算の主な内容
一般会計	58億4475万円	55億8505万円	町政各般にわたる諸事業に要した経費です。
国民健康保険	12億3035万円	11億8825万円	国民健康保険に関する事業に要した経費です。
後期高齢者医療	1億896万円	1億885万円	高齢者の医療給付に関する事業に要した経費です。
介護保険	13億9395万円	12億3806万円	介護サービスに関する事業に要した経費です。
浄化槽整備推進事業	6813万円	6473万円	町が浄化槽の設置と維持管理に要した経費です。
文化・体育振興基金	353万円	331万円	文化・体育各団体へ活動補助金などに要した経費です。
水道事業 収益的収支	1億6449万円	1億5279万円	浄水場等の維持管理や減価償却費等の経費です。
水道事業 資本的収支	4131万円	9542万円	企業債償還金及び水道管の布設替えなどの経費です。

◆町の財政を診断 健全な段階で推移

地方公共団体の財政の健全性に関する比率の報告

法律の規定により、町の財政の健全性に関する指標が報告されました。数値は、いずれも危険な基準を超えておらず、財政状況は健全な段階で推移しています。

健全化判断比率(%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
小野町	-	-	6.1	-
早期健全化基準(黄色信号)	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準(赤信号)	20.0	30.0	35.0	

資金不足比率(%)

区分	水道事業会計	浄化槽整備推進事業特別会計
小野町	-	-
経営健全化基準	20.0	20.0

※実質公債費比率…普通会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率。数値が小さいほど健全
※将来負担比率…普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。数値が小さいほど健全
※小野町では実質赤字や資金不足がないことから、それに関連する指標は「-」と表示

条例の一部改正

条例の一部改正の主な内容は次のとおりです。

◆小野町後期高齢者医療に関する条例を一部改正

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、後期高齢者医療保険料の還付加算金に関連する条項等について必要な改正を行うものです。

◆小野町農林業等振興事業分担金徴収条例を一部改正

福島県が事業主体となる浮金地区の県営土地改良事業の受益者分担金を、町が徴収できるようにするため、対象となる事業主体を地方自治法に規定する普通地方公共団体に改正するものです。

人事案件

◆教育委員会委員の任命に同意

小野町教育委員会の委員として、先崎千吉子氏(再任・夏井)と間野泰博氏(新任・皮籠石)を任命することに同意しました。

先崎 千吉子氏
(夏井)

間野 泰博氏
(皮籠石)

請願・陳情の審査結果

◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出陳情書

陳情者：日本労働組合総連合会福島県連合会

田村地区連合会 議長 小林 和彦

付託委員会：総務文教常任委員会

審査結果：採択

◆東京電力福島第一原子力発電所事故で発生した放射能汚染水(アルブス処理水)の海洋放出に反対する意見書提出について

陳情者：D A P P E

(平和と平等を守る民主主義アクション)

代表 芦野 大地

付託委員会：総務文教常任委員会

審査結果：不採択

※陳情の審査は、付託された常任委員会で行います。付託とは、議案の議決に先立ち、議員で構成する各常任委員会に審査を分割して任せることです。

◆議員提出議案

4件の議員提出議案を可決しました。

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

議案提出者：渡邊 直忠 議員

◆意見書の提出

陳情の採択や小野町議会独自の意見書を内閣総理大臣等に提出する)について提案したものです。

○地方財政の充実・強化を求める意見書

議案提出者：先崎 勝馬 議員

意見書提出先：内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣(地方創生規制改革担当)、内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)

○東京電力福島第一原子力発電所

トリチウム水の処分方法に関する意見書

議案提出者：先崎 勝馬 議員

意見書提出先：内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、経済産業大臣、環境大臣、復興大臣

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴つ地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

議案提出者：宗像 芳男 議員

意見書提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣



ここが聞きたい 質疑

常任委員会審査

予算決算・常任委員会

税務課

健康福祉課

総務課

問 不納欠損額の内容は。

答 公共施設等整備検討事業でつくば市を視察先に選んだ理由は。

答 民間活力を生かした整備手法で庁舎建設を行っていたため選定したものである。

企画政策課

問 地域おこし協力隊員に小野町に定住したいと思えるような交流を図ることはできないか。

答 一般町民の皆さんとはなかなか交流できる機会がなく、現在はコロナウイルスの関係で人を集めるのが難しい状況である。町広報誌で毎月活動状況をお知らせしている。引き続き町民の皆さんにお伝えしながら、交流の輪(場)を広げてきたい。

問 消防団員の確保に苦慮されているが、欠員の状況はいかがか。

答 消防団員確保については、機能別団員への組み替えなどで対応しているが、22名の欠員が出ている状況である。



子育て支援課

問 新型コロナウイルス感染症により登園を自粛した家庭に保育料の返金をするとのことだが、近隣の状況は。

答 田村市や三春町でも、登園自粛した分を返金している。



答 収入は非常に少ない状況ではあるが、福祉サービスの一面もあり代替施設もないため、大規模修繕がなければ今後も運営していく。在り方の検討は必要。

問 たかむら荘(ゆーゆーこまち)の老朽化が進み、赤字額が増えると思われる。今後の経営方針は。

産業振興課

問

街なか賑わい創出事業でトレーラーハウスやキッチンカーの利用があげられているが、十二分に利用できているのか。

答 町からは依頼をしているが、夜間に職員を常駐させるのは施設管理等の関係から困難とのこと。今後も協議したい。

問

サマーイルミネーションについては、リカちゃんキヤッスルも開園するなど連携を強めた事業としてはどうか。



地域整備課

問

自走式刈払機の貸し出しについては、団体に貸し出すのか、個人でもよいのか。

答 原則貸し出しは行政区を通して要望していただく形を考えている。ただし、愛護会からの要望があれば前向きに検討したい。

教育課

問 小中学校に配備されるタブレット端末は家庭でも利用できるのか。

答 家庭での活用方法等は小野町ICT活用推進委員会で、今後検討を進めていく予定である。



厚生産業常任委員会

問

県営土地改良事業の分担金を町が徴収することだが、分担金は組織として払うのか、個人が払うのか。

答 浮金第一地区ほ場整備推進組合から町へ納入するもの。個人ではない。

問

県営土地改良事業の負担割合は。

答 本年度は実施設計を含む5000万円の予算を計上している。地元組織が7.5%で375万円の負担となる。町は10%で500万円の負担となり、残りの82.5%が国と県の負担となる。

答 上位法と呼称の整合を図るために改正しているもの。内容に違いはない。



総務文教常任委員会

問

後期高齢者医療保険料の特例基準割合の呼称が変更されているが、改正前とどのような違いがあるのか。

答 上位法と呼称の整合を図るために改正しているもの。内容に違いはない。

7月第1回会議開催

7月31日に令和2年小野町議会7月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

◆補正予算

新型コロナウイルス感染症対応に係る議員や特別職の期末手当の減額、小・中学校児童・生徒の学校給食費助成費用を計上するなど、4107万2千円を増額するものです。

◆契約案件

○社会資本整備総合交付金事業

百目木・堀切線道路拡幅・舗装工事

請負契約の締結について

予定価格が50000万円以上となるため、議会の議決を経て契約を締結するものです。

契約額：6655万円
契約先：(株)吉田土建

○小野町立小中学校教材備品タブレット端末等購入契約の締結について

予定価格が700万円以上となるため、議会の議決を経て契約を締結するものです。

契約額：5031万4千円
契約先：リコージャパン株

福島しA営業部
販売事業本部福島支社

10月第1回会議開催

10月19日に令和2年小野町議会10月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

◆補正予算

新型コロナウイルス感染症対応に係る役場における業務の分散化やデジタル化の推進、水稻農家支援特別給付金、小野町応援商品券の追加支給の費用を計上するなど、7297万1千円を増額するものです。

◆議会費の公表

議会基本条例第22条第2項の規定により、令和元年度の議会費の使途を公表します。

※1万円未満切り捨て

項目	金額	使途の内容
職員人件費	1895万円	事務局職員に係る人件費です。
議員報酬等	5681万円	議会議員の報酬や議員共済会への負担金等です。
議会運営	605万円	視察旅費、会議録作成料、各種負担金等です。
議会政策	179万円	常任委員会の調査や国県などへの要望活動の経費です。
議会だより発行	77万円	おのまち議会だより5回分の発行経費です。
合計	8439万円	

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。
・田村弘文議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	會田百恵子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬	渡邊直忠	吉田康市	宗像芳男	水野正廣	久野峻	竹川里志
				會田百恵子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬						
会議第1回	町長	令和2年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		社会資本整備総合交付金事業百目木・堀切線道路拡幅・舗装工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町立小中学校教材備品タブレット端末等購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会議第1回	町長	令和元年度小野町一般会計・各特別会計等歳入歳出決算の認定 7件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和2年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		令和2年度各特別会計等補正予算 5件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農林業等振興事業分担金微収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		林業専用道整備事業袖山田尻線第2回新設工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		社会資本整備総合交付金事業小野公園多目的グラウンド照明設備改修工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		元年災矢大臣川筋河川災害復旧工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 2件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会議第1回	町長	議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		東京電力福島第一原子力発電所トリチウム水の処分方法に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会議第1回	町長	令和2年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。 ※個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

8人の議員が一般質問

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します。
「会議録」をご覧ください。(11月下旬掲載予定)

会田 明生 議員 8ページ

- 1 道路・河川の環境維持について
 - ・今後の道路・河川の除草作業等の在り方について
- 2 防災行政について
 - ・地区防災計画について
 - ・水防計画書について
- 3 過疎地域自立促進計画について
 - ・新たな過疎対策について

渡邊 直忠 議員 9ページ

- 1 人口減少時代、いかに歳入を確保して持続可能なまちづくりをするか
 - ・税収の増及び税外収入の増加について
- 2 令和3年一般会計プラス10億円予算を組むために
 - ・自主財源確保のために、町は何をするのか何をしてきたのか
 - ・ふるさと納税・企業版ふるさと納税・クラウドファンディングの積極的な取組について
 - ・ふるさと納税、小野町の寄付状況と実績について
 - ・ふるさと納税受入額が大きい類似町村との特別職報酬等の比較について
 - ・ふるさと納税活用による持続可能なまちづくりについて
 - ・おのまち未来づくりのために
 - ・小野町行政組織の在り方について

竹川 里志 議員 10ページ

- 1 町長の政治姿勢について
 - ・2期8年の町政の評価について
 - ・今後の町政運営について
- 2 教育行政について
 - ・小中学校の道德教育の教科導入について
 - ・新型コロナウイルス禍の道德教育について

會田 百合子 議員 11ページ

- 1 マイナンバー制度の問題点について
 - ・マイナンバーの危険性について
 - ・マイナンバー関係の情報漏えいや内容について
- ◆ 2 情報セキュリティについて
 - ・マイナンバーの将来について
 - ・マイナンバーの行政と町民においてのメリットとデメリットについて

先崎 勝馬 議員 12ページ

- 1 夏井千本桜周辺整備について
 - ・千本桜の管理費について
 - ・千本桜が植栽されている河川敷の整備について
- 2 夏井川及び町内河川の土砂の堆積について
 - ・右支夏井川を含めた夏井川全体の土砂の除去について
- 3 町道石ノ平・穴子線の整備計画について
 - ・太子堂から原地区まで磐越東線沿い町道の改良について
- 4 高齢者の援助サービスについて
 - ・高齢者の買物サービスについて

宗像 芳男 議員 13ページ

- 1 一般行政について
 - ・町づくりについて
- ◆ 2 教育行政について
 - ・中学校へのスマートフォンの持ち込みについて
- 3 一般行政について
 - ・町長の政治姿勢について

緑川 久子 議員 14ページ

- 1 コロナ禍における学びの保障～ICT活用の教育について
 - ・小・中学校のオンライン授業などのICT教育の取り組みについて
 - ・専門的知識を有するICT支援員の人材支援体制について

中野 孝一 議員 15ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症に係る農業対策について
 - ・新型コロナウイルス感染症に係る農業への影響について
 - ・新型コロナウイルス感染症に係る農業支援について
- ◆ 2 農業振興対策について
 - ・農業情勢について
 - ・生産基盤の整備について
 - ・農業者への所得向上対策について
 - ・農業の後継者対策について





今後の道路・河川の除草作業等の在り方は



答

各種支援事業などにより
各行政区等でも継続できるよう取り組む

町長 高齢化や人口
減少などにより、地域
における共同活動が
難しくなっております
が、環境維持活動は、
安全・安心でござります

道路や河川の環境維持の活動は、道路・河川管理者やボランティア団体、行政区等によって行われています。

今後、地域における人口構造の変化の中で、安全に配慮しながら維持管理を継続していく方法の検討が必要ではないですか。

会田 明生 議員



行政区での環境保全活動も人口減少で活動が難しくなっている

田長 過疎地域が抱える課題解決のため、新たな過疎対策法の制定が望まれます。

問 本年度は、町の過疎地域自立促進計画の最終年度です。現行の過疎地域自立促進特別措置法は令和3年3月末に失効します。国では新たな過疎対策についての検討を行っています。

町では、計画の達成状況等の検討、今後の過疎対策について、どのように考へているのか伺います。

答

新たな過疎対策は

持続可能な地域形成のための過疎対策を継続する

は、地域が抱える課題解決など、多様な世代の町民や関係人口の参画を促すこと、当事者意識を持つ地域住民等の人材を育成することが重要と考え、まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策を推進しつつ、持続可能な地域社会の形成に向け発展するための過疎対策を引き続き講じて参ります。



渡邊直忠議員

問

ふるさと納税・企業版ふるさと納税等の積極的な取組を

答

ふるさと納税制度等を積極的に活用していく

問 超高齢化社会を迎える前に、人口減少が加速しています。小野町では1万人が維持できない状況になってしまっており、今後ますます医療・介護の需要が高まります。まちづくり事業等を実施するに大きな財源が必要となることから、自主財源確保のためにふるさと納税等への積極的な取組が必要です。

答 ふるさと納税等への取組について、町長の見解を伺います。

町長 将来にわたり安定した行政運営を図るために、自主財源の確保は非常に重要であると考えております。現在、ふるさと納税に関しましては、専門の受付サイトなどを通して、多くの方々からの寄附を受けおり、寄附総額も増加傾向で推移しております。企業版ふるさと納税に関しても、賛同いただけます。

ふるさと納税制度



ふるさと納税の受付専門のサイト「さとふる」

町長 ふるさと納税の返礼品を通じた地域経済の活性化や新たな特産品開発による産業振興、公立小野町地方総合病院の機

能充実なども、持続可能なまちづくりを計画的に進めることには、安定的な財政運営が求められます。そのためにも、ふるさと納税を含む一般財源を確保し、持続可能なまちづくりに取り組んで参ります。

ふるさと納税制度

に看護師養成学校の開設や土地の取得、「企業本社機能誘致」や「社会機能の全国分散」を実施する議員連盟」の2つの事業等を開設、ネットショッピングモールの開設による全国へ向けた住宅や商品販売の実施、公立小野町地方総合病院

には財政調整基金も含めて17の基金がありますが、年々減少しており町債もあります。町の健全経営のためにも、ふるさと納税活用による持続可能なまちづくりを進めるべきと考えますが、町長の見解を伺います。

問

ふるさと納税を含めた一般財源を確保しながら取り組む

答

ふるさと納税を含めた一般財源を確保しながら取り組む

持続可能なまちづくりを計画的に進めることには、安定的な財政運営が求められます。そのためにも、ふるさと納税を含む一般財源を確保し、持続可能なまちづくりに取り組んで参ります。

総務課長 財政運営

状況は、収支不足をこの数年、財政調整基金の繰入れで対応している状況にあります。引き続き、自主財源を取り組むとともに、経費の節減に努め、基本の取崩しに頼らない収支が均衡した安定的な財政運営を図つて参りたいと考えております。



今後の町政運営は



新型コロナウイルス対策や 重要な行政課題に全力で取り組む



竹川里志議員

町長 新型「コロナウイルス感染症の対策は、補正予算の編成をはじめ、各種の対策を取って参りましたが、今後も私が先頭に立ちまして、町民の皆様の生活を守るために、あらゆる施策を実行して参ります。

【問】今年初めに発生した新型コロナウイルス感染症のため、町民の生命や財産が脅かされています。感染症の流行が拡大しており、収まるまでには時間がかかると予想されます。

国 の 補 正 予 算 な ら ど も あ り ま す が、町政の対応が難しい状況にある中で、町長のリーダーシップが問われています。今後の町政運営でどの様に町民の安全安心を確保していくのか伺いま

新しい生活様式の周知広報やオンラインの活用、職員の勤務形態の見直し、公共施設の管理を検討して参ります。ワイヤレスコロナの視点に立った、町政運営に努めまして、新型コロナウイルス感染症対策とその他の重要な行政課題に全力で取り組んで参ります。

「新しい生活様式」の周知など
新型コロナウイルス感染症対策に取り組む

再質問 今まで整備されていない役場庁舎やインター周辺の開発などについて、3月の町長選挙後にまた町政運営をしていくということを伺います。

を進める」とことによつて、多くの方々がこの小野町に来られ、そしてまた、自主財源の確保にもつながっていくのではないかと考えております。3月以降のことは、あえて控えさせていただきますが、そういうつもりで進めてはいるということをご理解をいただきたいと思います。

問 小中学校の新学習



新型コロナウイルス禍の
日本政治

学校と家庭の連携を密にして
心豊かな子供たちの育成を目指す

よい人間関係の構築を目指す試みの1つであります。

教育長 小・中学校が
共通して取り組んでお
りますハートフルプログラ
ムの実践は、子供たちの
の自己肯定感、自己有用
感を育むとともに、より

びに向かう力、人間性の涵養」がうたわれてているが、この新型コロナウイルスなどの感染症や自然災害などが発生している状況で、道徳教育を通して子供たちの主体性や自己確立をどう教育していくのか、教育長に伺います。

がこれまでも生間3回
間実践してきておりま
す。先生や子供たちの負
担ということでありま
すが、今まで通り学習を
行うなかで、教科化によ
り評価が加わりますの
で、今まで以上に更に深
く取り組んで授業を進
めてまいります。

再質問 道徳の教科化はICTの活用、プログラミング教育、英語の教科化などの課題がある中で、現場の先生や子供たちの負担がないのが、伺います。

いけるよう、今後も学校現場や家庭との連携を密にしながら、確かな学力、健やかな体の習得とともに、心豊かな児童生徒の育成を目指して参りたいと考えております。

いて考えさせ、自己を見つめ、他者とともに豊かな人生を歩むことができる基礎を養うことになります。これがおおいた取組です。



會田百合子議員

また、特定の職員のみが専用の端末機を操作できるよう、ログイン方法をパスワード入力と静脈認証の2要素認証を導入し、セキュリティの確保と強化を図っております。

デメリットは、広く一般的には個人情報の漏えいの危険性があるところであります。

ビスなどの申請時に
住民票や税の証明書
などの添付書類の提
出が省略でき、手続の
負担が軽減できるこ
となどが挙げられま
す。

問

マイナンバーの情報セキュリティは

答

様々な対策を講じて
セキュリティを確保している

町長会計検査院の検査結果の概要是、情報セキュリティ対策が不十分な地方自治体が見受けられたため、国は、地方自治体に対して十分な情報セキュリティを講じるよう助言を行うことを求めるものであります。現在は、行政機関の閲

問 本年1月の会計検査院の報告書にあるマイナンバーの情報セキュリティの脆弱性について、どのように認識されていますか。本町において、情報セキュリティは万全と言えるものなのですか伺います。

で、マイナンバーを含む個人情報について情報照会や情報提供が行われており、万全な情報セキュリティ対策の下で個人情報を管理していくかなければならぬと強く感じております。情報セキュリティ対策に関するましては、総務課長より答弁させます。

問

マイナンバーの行政と町民においての
メリットとデメリット

問 行政側や住民側において、どのようなメリット及びデメリットが生じているか伺います。

町長

すが、町の対策につきましては、先ほど総務課長が答弁しましたとおり、万全を期しております。また、町民側といたしましてはマイナンバーは生涯にわたって利用する番号

でありますので、番号
が記載されたマイナ
ンバーカードの紛失
や記載内容の漏えい
がないよう大切に保
管されるよう、周知徹
底を図つて参りたいと
考えております。

内閣府で発行している「マイナンバーカードの安全性」のリーフレット



夏井千本桜の管理費は



枯れ枝の剪定や病木除去に一定の予算を確保したい

町長

夏井千本桜が現在のような町を代表する観光名所となりました。

枯れ枝の剪定や病木除去に一定の予算を確保したい

問

夏井千本桜については、現在まで、地



先崎 勝馬 議員

りましたのは、長年にわたり、地元の皆さんを中心となつて草刈りや枯れ枝除去などの環境整備に努力されてこられたおかげであります。

今後の千本桜周辺の環境整備や保全であります。草刈りやごみ拾い、河川清掃などはこれまでどおり地元の皆さんにご協力して景観保全に努めて参りました。しかし、ながら、地元関係者の高齢化等により、周辺整備にも限界がござります。景観を維持することにより、更なる集客と収穫を図るためにも、より強い町の財政面と人的支援等の関与が必要だと思いますが、町長の見解をお伺いします。

本道路は、県道間を結ぶ地域住民の重要な生活道路であり、かつ農地が連担する幹線農道としての役割を持っています。しかししながら、道路幅が狭く、車両の交差が困難であります。特に千本桜期間時は、車両交差が困難なことから混雑の原因にもなっております。

町長

昨年度、本区域の皆さんのご協力をいただきながら、町及び観光協会で支援を行つて参ります。



整備が予定されている町道石ノ平・穴子線



道路の拡幅と側溝改修を計画し本年度より整備していく



町道石ノ平・穴子線の整備計画は

問

本道路は、県道間を結ぶ地域住民の重

排水機能の向上を図るための側溝改修を併せた道路整備計画を立て、本年度当初予算に所要の経費を計上しております。本年度は待避所を兼ねた

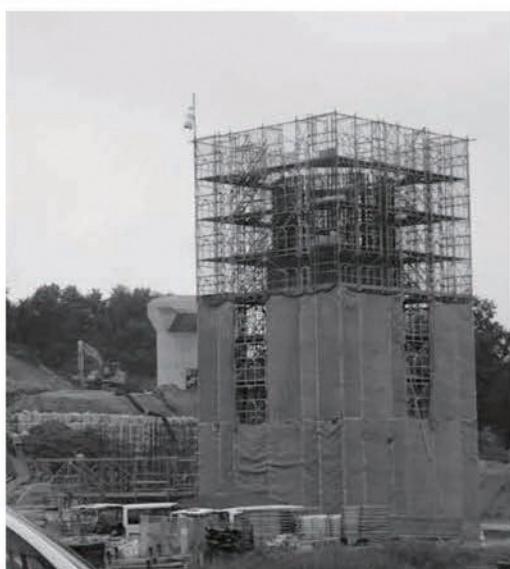
道路拡幅工事を一部実施する予定であり、次年度以降についても、優先箇所を見極め、順次実施計画を関係者に示しながら整備を進めて参ります。

本年度道路整備の予算が計上されますが、計画及び今後行政の基本的な考え方の予定について伺います。



宗像 芳男 議員

問 大和田町長は、人口減少や過疎化でより町の活気が失われつつある現状に鑑み、オールおのまちによる町づくりを目指して町政執行に当たつてこられましたが、現状を維持することが甚だ困難な状況であります。現在、右支夏井川改修事業、あふぐま高原道の延伸に伴うインター・エンジ付近の橋脚建設など、大規模な工事ラッシュが続いておりますが、これら工事完成後、町活性化のため、どのような町づくりを考えておられるのか、伺います。



小野インターチェンジ付近に建設されている
県道吉閻田瀧根線の橋脚

大規模工事完成後の町づくりは

答

人口減少の危機意識を共有しながら 町づくりを進める

問 大和田町長は、人口減少や過疎化でより町の活気が失われつつある現状に鑑み、オールおのまちによる町づくりを目指して

町長 町内では右支
夏井川河川改修事業
や県道吉間田滝根線
の整備などの各種基
盤整備が進められて
おります。

特に直近の課題としては、新型コロナウイルス感染症について新しい生活様式の実践や各種支援策を講じ、町民一丸となつてこの難局を乗り越える必要があります。また、将来を見据えた総合計画の基本理念や4つの基本目標の達成、新たな行政需要へ

の対応、町全体の維持管理など、行政水準の確保を図るためにには、町民をはじめ、あらゆる産業分野の方々と人口減少への危機意識を共有しながら、町づくりを進める必要があると考えております。

校舎建設、小野小学校新校舎建設等、難問が山積しており、これらの問題解決には、先見の明と強固な意志を持つたトップリーダーが必要であります。

来春執行されます町長選挙に、3期目に向けて出馬する強い意志と気力がああります。

大和田町長におかれましては、東日本大震災発生後、極めて困難なときに町長に就任され、2期約7年半にわたり鋭意努力を重ねてこられたことは、町民等しく理解するところであります。

当たつて参りました。町民の皆様の声をお聞きし、オールおのまちでまちづくりを進めることができます。私の政治姿勢でありますので、3期目の立候補につきましては、皆様のご意見をお聞きしまして前向きに検討して参ります。

ました。それを打ち破るべく、特に、人口減少対策に力を注いで参りました。今年度新たに人口対策担当を設置し、人口減少対策と持続可能な町づくりを進めております。

私は、町民が主役という政治理念に基づき

町長 町内では右支
夏井川河川改修事業

問

町長選挙への出馬は

町長 就任当時は

町長 就任当時はリーマンショックや東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響によりまして、町は大きな閉塞感に覆われておりました。それを打ち破るべく、特に、人口減少対策に力を注いで参りました。今年度新たに人口対策担当を設置し、人口減少対策と持続可能な町づくりを進めております。

問

小・中学校のオンライン授業などのICT教育の取り組みは

答

1人1台のタブレット端末を整備し 学習で活用していく

問 コロナ禍という社会状況において、子供たちの学びを保障できるよう、オンライン授業などICTを活用した家庭でも学びを続けられる教育環境の整備が急がれています。文部科学省は、ギガスクール構想を大幅に前倒しする計画を発表しました。今年度中に全国の小・中学校に1人1台のパソコンを使える環境を整える方針を示しています。

町でも、小・中学生1人につき1台のタブレット端末の配置が決まっておりますが、活用に当たっての今後の



緑川 久子 議員

取組とデジタル化に向けた教育方針を教育長にお伺いします。

教育長 児童・生徒の学びの保障の1つとして、ギガスクール構想を通して、1人1台のタブレット端末の整備などを進めていっているところです。活用に当たっては、小野町ICT活用推進委員会において、必要なソフツウェアの選定や教職員対象のICT研修会、オンライン授業のためのインターネット環境整備などを進めているところです。ICTを活用した教育を推進するためには、ICT支援員などによって教職員をサポートしていくことが重要であると考えております。

問 オンライン授業などの学習を進める教育現場では、通常の業務に加え、長期休校による学習の遅れの取り戻しや小・中学校のプログラミング教育を取り入れた新学習指導要領の開始など、取り組まなければならぬ課題が山積みです。

教育長 ICTを効果的に活用していくために、ICTを効果的に活用していくために、ICT支援員の配置は、教育の現場を疲弊させないためにも、またデジタル教材の活用など、教育の質を高めるサポートセンターとしてアドバイザー的な役割を担う存在になるとの報告もあります。

度が高まり、学びの質の向上につながっていくものと考えております。

なお、ICT支援員としての専門性を有する人材は少ないため、文部科学省事業活動の検討、情報収集を行うとともに、必要に応じた募集方法や他市町村との連携、共同配置なども視野に入れながら、人材の確保に努めて参ります。

度が大切であり、そのための機器やソフトウエアの設定、操作、教材等の活用の助言などをを行うICT支援員が配置されることは教職員による指導準備や運用の煩雑さが解消され、活用頻

**問**

専門的知識を有する ICT支援員の人材支援体制は

答

ICTの効果的活用のため人材を確保し教職員等をサポートする

ICT支援員の人材支援策を教育長にお伺いします。

ます。ICT支援員などの人材支援策を教育長にお伺いします。

ます。ICT支援員としての専門性を有する人材は少ないため、文部科学省事業活動の検討、情報収集を行うとともに、必要に応じた募集方法や他市町村との連携、共同配置なども視野に入れながら、人材の確保に努めて参ります。

度が高まり、学びの質の向上につながっていくものと考えております。

なお、ICT支援員としての専門性を有する人材は少ないため、文部科学省事業活動の検討、情報収集を行うとともに、必要に応じた募集方法や他市町村との連携、共同配置なども視野に入れながら、人材の確保に努めて参ります。



問

新型コロナウイルス感染症に係る 農業への支援は

答

まずは畜産農家への経営継続の支援を行う

町長 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた農家への支援については、畜産業に大きな影響が出ていることから、まずは

ナウイルス感染症感染拡大への影響を乗り越えるための農家の経営継続を支援する必要があると考えます。町としては、どのような施策を講じるのかお伺いします。

平均価格から影響額を算出し、販売頭数に応じて経営継続のための特別給付金として各農家に交付するものであります。農業に関するその他作物については、今後、水稻をはじめ、秋野菜の収穫も始まる」とかかり、多方面の情報を収集し、必要に応じて支援策を考えて参ります。

畜産農家への支援を実施したいと考えております。一口に畜産業と申しましても、肥育、繁殖、酪農など多様な業態がございます。町としては、業態ごとに昨年と今年の

町長

町長 農業後継者の問題は農村地域の長年の課題となつております。農業後継者対策として、新規就農者を地元や町外から募る

います。町の基幹産業でもある農業を振興させるためにも、農業の後継者対策は、ひしと迫る課題と考えますが、町としてどうように考えておられるかお伺いします。

問

農業の後継者対

新規就農者を募る



オンラインによる「新・農業人フェア」での新規就農者募集活動

問 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う

問

農業の後継者対策は

所得の向上を図る施策を考えて参ります。

方があなたの農家の長男の方が会社などに勤めておりまます。定年になれば家には農地が残つて、そのために、畠で野菜を作つて、そして自分も食べて、直売所で売つて、またそこでお金になるというようなことに、もなれば、農業の魅力も感じてもらえるのかなと常々思つております。

調査

常任委員会活動報告

反映させ、確実な事業遂行に寄与することを目的に実施しました。

企画政策課

問

役場の情報化についての今後の予定は。

答 11月にはタブレット端末の発注を予定しており、3月の稼働を目指している。ハード活用に合わせて、ソフトの導入やルール作りも進める。

総務課

問

電子申告の推進について、今後、どのように進めていくか。

答 マイナンバーカードを取得することで電子申告も簡単にできる。まずはマイナンバーカードを取得し、個人事業主が自分で電子申告できるよう啓発したい。

町民生活課

問 小型動力ポンプの更新状況は。

答 「図書・新聞に親しむ条例」もあることから、図書館が利用されるよう周知したい。読書通帳も始まるので、利用促進に努めたい。

総務文教常任委員会



▲総務文教常任委員会の審査の様子

委員長	水野 正廣
副委員長	先崎 勝馬
委員員	竹川 里志
委員員	宗像 芳男
委員員	渡邊 直忠
委員員	会田百合子

答 結果に基づいて情報発信を行う。空き家の貸借等の契約に関して、専門業者を活用するかについては手数料が発生するため検討する必要がある。

問 空き家調査の結果をどのように活用するか。

答 小野高校のみならず学校と地域をつなぐコーディネーターは必要である。生業になるかも検討が必要。今後考えていくべきないか。

問 地域おこし協力隊を小野高校の魅力化向上などのコーディネーターとして新たに募集できなかつたか。

答 1-P 無線機は、消防団では必要な情報の伝達に、自主防災会では災害時の連絡用として各30台配備している。運用を分けているので、混在はしない。

問 1-P無線機は、消防団と自主防災会で混在してしまうのでは。

答 現在の保有台数は30台で予備機が3台となっている。古いものの更新は完了したので、今後も計画的に更新していくたい。

教育課

問 スクールバスの乗降所についての苦情等はなかつたか。

答 事前に協議をして進めてきたため、今のところ苦情等はない。

問 高齢者が趣味の本を見るだけでも、頭が活性化され良い影響があると言われている。もっと図書館を活用してはどうか。

答 「図書・新聞に親しむ条例」もあることから、図書館が利用されるよう周知したい。読書通帳も始まるので、利用促進に努めたい。

令和2年度重点事業

目的 所管課等における重点事業の進捗状況を調査し、委員会活動に

健康福祉課

問 壮年期からの健康づくり事業では、本当に必要な人に利用してもらえるような取組が必要では。

答 健康に対して無関心な方へのアプローチが大切である。健診受診後のアドバイス等の取組を実施していきたい。

厚生産業常任委員会



▲厚生産業常任委員会の審査の様子

委員長	会田 明生
副委員長	中野 孝一
委 員	田村 弘文
委 員	久野 駿
委 員	吉田 康市
委 員	綠川 久子

子育て支援課

問 認定こども園の運営に向けた話し合いの状況は。

問
すこやか出産妊産婦支援事業でのーTを取り入れたオンライン訪問のような支援も必要では。



答 完全予約システムについては好評だったため、次年度も続けていきたい。受診日数を多くできるよう検討した

問 集団検診の予約方法は、今後コロナの状況が落ち着いた通常

集団検診の予約方法は、今後コロナの状況が落ち着いた通常時でも完全予約制にするのか。

地域整備課

問 公営住宅の新築の予定は。

答 人口減少等に伴い公営住宅の需要戸数を算定中であり、今すぐに建てる建てないという検討には入っていない。

産業振興課

コロナ時代における一IT化についての事業所向け勉強会を開催しては。

答 今後必要と考える。商工会とともに検討を進めたい。

問 新規就農促進PR事業は町単独で行っているのか。

答 JA及び、田村農業普及所と連携して行っている。



議会活動トピックス

認定こども園について意見交換(9月11日)

認定こども園の整備運営事業者である社会福祉法人啓誠福祉会(理事長 琴田啓子氏)との意見交換を行いました。施設整備や運営の方針等について説明を受け、その後意見交換を行いました。



認定こども園の運営の方針等について説明を受ける

議会改革等についての視察に来町(10月28日)

千葉県芝山町議会の2会派の皆さんと、小野町議会での議会改革の取組について視察に訪れ、意見交換を行いました。通年議会や町民との意見交換会の開催方法などについて、質疑が行われました。



議会改革の取組について意見を取り交わす

議会活動日誌

8月

- 3日 新人議員研修会（福島市）／都市計画審議会
- 4日 千葉県芝山町との災害時相互応援協定締結調印式
- 4日～6日 決算審査
- 7日 月例全員協議会
- 25日 例月出納検査
- 27日 町村議会正副議長研修会（福島市）
- 31日 議会運営委員会／全員協議会

9月

- 1日 新型コロナウイルス感染症対策本部会議
は～とらいふ小野・やまだオープン式
- 3日～11日 小野町議会定例会9月会議
- 6日 市町村対抗軟式野球大会
- 11日 月例全員協議会／認定こども園運営等に係る意見交換会
- 20日 市町村対抗軟式野球大会（須賀川市）
- 23日 小野町戦没者追悼式
- 25日 例月出納検査
- 26日 市町村対抗軟式野球大会（福島市）

10月

- 6日 田村地方植樹祭
- 7日 田村広域行政組合議会 議会運営委員会・全員協議会（三春町）
- 8日 福島県町村議会議員研修会（郡山市）
- 12日 月例全員協議会／県道吉間田滝根線現地視察
予算決算常任委員会現地調査
- 13日 郡山地方広域消防組合議会（郡山市）
- 15日 田村広域行政組合議会（三春町）／公立小野町地方総合病院企業団議会
- 16日 福島県への要望活動（福島市）
- 18日 市町村対抗ソフトボール大会（相馬市）／小野町消防団秋季検閲式
- 19日 小野町議会10月第1回会議
- 23日 例月出納検査
- 24日 市町村対抗ソフトボール大会（相馬市）
- 25日 小野小学校運動会
- 28日 千葉県芝山町議会視察来町
- 29日 議会運営委員会／総務文教・厚生産業常任委員会所管事務調査



10月8日 福島県町村議会議員研修会



10月12日 予算決算常任委員会現地調査
(町道リカちゃん通り線)

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

議会からの
お知らせ

**定例会12月会議は
12月3日(木)から開会します。**

一般質問は12月4日(金)の予定です。

- 新型コロナウイルス感染症対策として議場の傍聴席の間隔を広げるため、座席数に限りがありますので、ご理解とご協力をお願いします。
 - 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
- ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

QRコードから
アクセス
してくださいマチイロ
マチを好きになるアプリ

**スマホ用アプリ
マチイロで配信を開始しました!**

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」をお届けできるよう、スマートフォン用無料広報誌アプリ「マチイロ」で配信を開始しました。ぜひご覧ください。

32回目の開催となるふくしま駅伝。今年は、郡山市から福島市までの9区間で50・2kmのコースとなります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、様々な対策をしての開催です。そのような環境の中ですが、練習の成果を十分に発揮していただきたいと思います。写真は10月の練習風景を撮影したものですが。沿道での応援ができませんので、小野町から声援を送りたいと思います。がんばれ小野町チーム！

今年1月の町議選は無事執行されました。その後新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、顧みれば年度末の各種行事の中止、花見もできず、連日の猛暑、オリンピックの延期、議会活動・視察等が制限される日々が続いているです。

マスクでは、連日コロナ禍に関することばかり。特に注目すべきは若年層の自殺者が多く、日本のみに見られる事態だそうです。お互いの絆を大切にして秋の紅葉を見て気晴らしをされてはと思います。

向寒の折、町民の皆様にはご自愛のほどお願いします。

小野町議会広報編集委員会 委員長 宗像 芳男

小野町議会**【小野町議会広報編集委員会】**

委員長	田村 弘文
副委員長	竹川 里志
委員	宗像 芳男
委員	会田 明生
委員	先崎 勝馬
委員	緑川 久子
委員	中野 孝一
委員	會田 百合子

表紙の写真

あとがき